



だっこ通信

第3号

2020. 10月発行



だ いしょうぶ・つ ながる・こ そだて



あるある話「お片付け」



子どもがおもちゃで遊んでいます。次々としては広げ、床はいつのまにかおもちゃだらけ。そろそろ食事の時間なので、おもちゃを片付けさせたい……。さあ、あなたならどうする？

ちゃんと片付けてね。
きちんとしまってね。

(*~*)

おもちゃは赤い箱に入れてね。

(*~*)

また散らかして！
片付けなきゃダメでしょ！

(>_<)

おもちゃの片付けを子どもにさせたい、使ったものを片付ける習慣を付けさせたい……。そんなとき、「ちゃんと〜」「きちんと〜」「〜しちゃダメ」という言葉をつい使いがちです。でも、これって実は指示が曖昧で、子供には伝わっていない場合があります。「ちゃんと」ってなに？「きちんと」ってどういうこと？「ダメ」って言われたけど、じゃあどうすればいいの？

そこで→「赤い箱に 入れる」のように、「おもちゃをどこに、どうするか」を示すとよいと思います。やるべきこと・してほしい行動を、分かりやすく具体的に伝えることがポイント。「伝えた」で終わらず、「伝わっているか」が重要。子どもが行動できた時は褒めることも忘れずに。

(*~*)

★本日のお題

してほしいことを、わかりやすく具体的に

何気なく使っていますが、子供にとってイメージしづらい言葉って、意外に多いものです。「ちゃんと〜。きちんと〜。しっかり〜。よく聞いて。見れば分かるでしょ。」などいろいろ……。年齢と共に分かってくる場合もあるし、経験を重ねて理解できるようになる場合もありますが「分かっていないのかな」「動けていないなあ」と感じたら、してほしいことを「わかりやすく、具体的に」言ってみましょう。

発行者：さくら市生涯学習課（担当 鈴木）